

郷土資料は



出雲市が作成した刊行物

地域の記憶は記録から

地域の記憶は、記録として残ることによって、
未来へと受け継がれていきます。
地域の記憶として残されてきた郷土資料から地域を見直してみると、
新たな発見があるかもしれません。

郷土資料は 貴重な資源

郷土資料は、地域の歴史、政治、産業などに関するあらゆる資料であり、その地域の過去や現状を知り、将来を考えるときには、重要な情報資源となります。

図書館では、郷土や郷土関係者に関する図書はもとより、昔の広報紙・新聞や各種団体の刊行物、個人出版物など、幅広く収集しています。なかには一般に販売されていないものも多く、機会をのがすと入手できないものもあります。また、図書だけではなく、パンフレットやチラシ、ポスターなども貴重な資料となります。

図書館では、そのような貴重な資源としての郷土資料を収集・保存し、利用者の皆さんに提供しています。



▲古文書講座の様子(大社図書館)

郷土資料を 活用しよう

市内の図書館では、郷土資料コーナーを設置し、貴重な資料を閲覧することが出来ます。貸出可能な資料もありますので、ぜひご利用ください。

また、郷土資料に触れ、学ぶ機会を提供するため、古文書講座なども開催しています。

出雲中央図書館や海辺の多伎図書館のデジタルライブラリーでは、館が所蔵する古い写真や絵図などをデジタル化したものを見ることが出来ます。



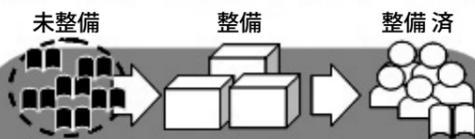
▶デジタルライブラリーを閲覧しています(海辺の多伎図書館)

さらなる活用を めざして

現在、市では「郷土資料活用計画」を策定しています。計画の中では、一般刊行物・行政資料・古文書類など整備対象となる資料を定め、郷土資料を有効に活用するための「基本理念」「基本方針」を示し、計画的に整備していく予定です。

また、市役所新庁舎2階に設置する「ふるさと出雲情報館」において、行政資料を中心に整備を進めていきます。過去から現在までのさまざまな出雲市の情報を閲覧することが出来ます。

郷土資料活用に向けて



- 郷土資料に対する意識の向上
- 市民の郷土資料活用の促進
- 郷土資料活用のための体制づくり

資料の収集に ご協力を

郷土資料を整備するためには、新しい資料の出版情報や各地域に残っている資料の情報が必要不可欠です。

皆さんのお宅に眠っている郷土資料はありませんか。情報をお持ちの方はぜひ図書館または図書政策課までお知らせください。

お知らせ

「英語で楽しむ
絵本の世界」



- とき/3月9日(月) 16時~17時
- ところ/出雲中央図書館 第1会議室
- 対象/幼児~小学校低学年程度
- 募集人数/25人(先着順)
- 申し込み・おたずね/出雲中央図書館



▶豊富な郷土資料をそろえています(湖陵図書館)

郷土資料とは なんですか?

郷土資料とは…

- 出雲市に深い関わりがあるものや出雲市出身者などに関する著作物
- 出雲市に関する文献および資料は、すべて郷土資料です。

どのような資料がありますか?

1. 刊行資料 (図書、パンフレット、チラシ、ポスターなど)

印刷・記録し、それらを刊行した資料

- ①一般刊行物
広く一般に刊行された著作物
- ②地方行政・団体資料
行政機関や各種団体が刊行した資料

2. 出雲市公文書 (旧自治体公文書など)

出雲市が職務上作成または收受した文書

3. 古文書類 (古文書、和本、漢籍 など)

何らかの内容を伝達した文書類や古い書物

新刊案内

さよならのプレゼント

佐野 久子/作
そうえん社/刊

主人公のリエは小学6年生。両親は離婚してお母さんとふたり暮らし。リエはいつもお母さんと口ゲンカばかり。そんなある日、家に一枚の絵が投げ込まれ…。



浅田真央、17歳

宇都宮 直子/著 文藝春秋/刊

試合で見る華麗な演技の陰には、想像を超える様々な困難があった。オリンピックに向けさらに自分と闘い続ける17歳の素顔を克明に描く。



建築家安藤忠雄

安藤 忠雄/著 新潮社/刊

ボクサーの夢に見切りを付け、独学で建築の道を志すものの、仕事もなく、挫折だらけの日々を送ってきた。わずかな成功を積み重ね、「世界の安藤」となるまでを描く。

